



持続可能な
インパクトを
生み出そう



各委員会活動方針

担当：例会運営委員会

8月4日 (火)

N03104 第4回例会



R I 2510 地区 古野重幸ガバナー

例会案内 「8月」例会案内

- 8月 4日(火) ☀ 各委員会活動方針 I
- 8月11日(火) ☀ 法廷休会
- 8月18日(火) ☀ 職業奉仕クラブフォーラム
- 8月25日(火) ☀ 社会奉仕クラブフォーラム

出席報告 7月21日例会

総会員数 28名
欠席者数 8名 石川, 井上, 津田, 児島, 山脇
遠藤, 武田, 宮岸各会員
出席率 71.73%
前取メーキャップ 0名
前回修正出席率 80.77%

前例会幹事報告

清水幹事

■滝川ロータリークラブより退任 就任のご挨拶

スマイルBOX

71,000円

●古野ガバナー ●小沢茅ヶ崎 RC 会員 ●大西洋太ガバナー補佐

会長報告

木村 喜芳会長

本日は ガバナー 方式 公式訪問です。はじめにご来賓の方をご紹介させていただきます。

国際 RC2510 地区 ガバナー 古野茂幸様、地区代表幹事武部幸紀様、国際 RC2510 地区第1 グループガバナー補佐大西洋太様です。深川の地までお越しくださり、誠にありがとうございます。後ほど古野ガバナーより卓話をいただきます。よろしくお願いたします。

続きまして、新会員の紹介をさせていただきます。新会員、吉井俊哉様、新会員 島田 広次様 お2人の入会を心から歓迎申し上げます。さらに、本日はメイキャップで来られたロータリアンを紹介いたします。神奈川県茅ヶ崎ロータリークラブ 小沢雅彦様。ここで、深川クラブと茅ヶ崎クラブの友愛の証として、バナー交換をさせていただきます。



吉居俊哉会員 島田啓典会員入会式



古野重幸ガバナー卓話

私は札幌ではなく、夕張郡栗山町という深川よりもずっと小さな町で生まれ育ちました。父が栗山ロータリークラブのチャーターメンバーで、会長も二度務めておりましたので、子どもの頃からロータリーは身近な存在でした。家族会が盛んだった時代で、私も小学生・中学生の頃から父や母に連れられて例会やイベントに参加していました。

高校1年、16歳の時に2510地区の交換留学生としてオーストラリアへ1年間派遣していただきました。この経験は私の人生にとって計り知れない財産となり、今日の私を形づくる大きな力になりました。ロータリーの標語に「最もよく奉仕する者最も多く報われる」という言葉があります。私は入会前にすでに大きな報いをロータリーからいただいていたわけですから、ガバナーとして恩返しをしたいという思いで、全力を尽くす覚悟でおりまします。さて、近年「原点に返ろう」というメッセージを発するガバナーが増えています。ではロータリーにとって、原点とは何か。私はその中心にあるのは「職業奉仕」だと考えています。「入りて学び、出でて奉仕せよ」という言葉があります。これが、これは職業奉仕の本質を見事に表しています。例会に参加し、仲間と語らい、職業上の知識や技能を磨き、それを自分の職業を通じて家族・地域・世界へ還元する。これがロータリーの大原則だと思っております。

しかし残念ながら、国際ロータリーではこの概念が以前ほど重視されていません。先進国で会員が減少している背景には、この職業奉仕の精神が薄れていることも一因ではないかと私は感じています。逆に、ドイツだけが先進国で会員数を維持しているのは、昔ながらの職業奉仕を大切にしているからだと思っています。もう一つ、私が原点として大切にしていくのは、戦時中のロータリーの歴史です。アメリカとの関係から誹謗中傷や弾圧を受け、次々とクラブが解散に追い込まれました。その中で東京ロータリークラブの米山梅吉は、なんとかロータリーを守ろうと例会で君が代を歌うなどの対策を講じました。しかし最終的には昭和15年9月11日、解散を余儀なくされます。米山梅吉がクラブに戻り、メンバーに解散を報告した時の悔しさや悲しさは、今も「決別の言葉」として残っています。この歴史を思うと、どんなに苦しい状況でもクラブを存続させることの重みを感じます。昨年度、当地区でも2つのクラブが解散しましたが、私は方針は書いていませうが、心の中では「クラブ解散ゼロ」を目標にしています。会員が少ななくても、苦しめても地域のために奉仕を続けるクラブを守りたい。これもまたロータリーの原点だと思っております。

時代は変わり、ロータリーも柔軟性を求められています。2016年の規定審議会では例会や出席、会員身分に柔軟性が認められました。国際ロータリーは「行動計画」を掲げ、より大きなインパクト、参加者基盤の拡大、積極的な関わり、適応力の向上という4つの優先事項を示しています。今年のRI会長はアフリカ出身で、ロータリーアクト出身として初めての会長です。「持続可能なインパクトを生み出そう」というメッセージを発信しています。私はこれを受けて「Discover Your Joy in Rotary」を掲げました。ロータリーに参加する喜びを、一人ひとりが見いだしてほしいという願いを込めています。

私が尊敬する稲盛和夫さんは「利他の心」を説きました。青年会議所のクリードにも「Service to humanity is the best work of life」という言葉があります。父からも「他人の面倒を見られる人間になれ」と教えられました。これらすべてがロータリーの精神と通じています。自分以外の誰かに与えること、それが人生の喜びであり、ロータリーの喜びだと私は思っています。深川ロータリークラブの活動計画書を拝見しましたが、内容の濃さ、寄付状況の公開、財団ステータスの明示など、ここまで丁寧で作られたクラブ計画書は初めてです。深川ロータリークラブは本当に素晴らしいクラブだと心から感じました。

今年度も木村会長のもと、深川ロータリークラブがますます発展されることを祈念し、私の話を終わらせていただきます。



委員長 佐々木 弘有
副委員長 轡田 光章

会長 木村 喜芳
幹事 清水 秀晃

会長エレクト 平瀬 文男
副幹事 山腋 康弘

副会長 森 隆江
会計 廣上 晃士

■例会場 ラ・カンパーニュホテル深川
■事務局 〒074-0004 深川市4条9番40号
プラザ深川3F TEL (0164)34-6228
■URL <http://mypage.fukanavi.com/rotary/> ■Mail fukagawa-RC@club502.jp



例会日 毎週火曜日
■第2510地区第1グループ